

草津の伝統であそぶ一日



第14回

草津 あおばな フェスタ

2018. **7/7** SAT

10:00 ▶▶ 17:00

入場無料



草津市
あおばな
フェスタ



JA草津市マスコットキャラクター
あおばなちゃん

草津市公認マスコットキャラクター
たび丸

場所 ▶ イオンモール草津 1 F セントラルコート

主催 ▶ 草津あおばな会

お問い合わせ ▶ 草津あおばな会事務局 (草津市役所 4 階 農林水産課内)
☎077-561-2455 平日午前8:30~午後5:15



あおばなは
草津市を
代表する
花です

《実演コーナー》

青花紙と匠の技で彩られる

きょうかこしほり
京鹿の子絞実演



11:30~

14:30~

誰でもカンタン絞って染めて
楽しい体験♪

事前
予約制
15名

しほりぞめ
絞染体験



10:00~

13:30~

《体験コーナー》

草津市の花を記念に

あおばなde
押し花体験



無料

世界に一つのうちわを作ろう!

オリジナル塗り絵
うちわづくり



無料

10:00~ 無くなり次第終了

ほかにも親子で楽しめるイベントもりだくさん! スケジュール・出演者など 詳しくは裏面をチェック ▶

「草津あおばな」ってなあに?

草津市の花として親しまれている「あおばな」。つゆ草の仲間である「あおばな」は毎年7月~8月の最も暑い時期にきれいな青色の花を咲かせます。この「あおばな」は、なんと! 江戸時代から草津で栽培されています。全国的にも草津だけで育てられてきた花で、主に「青花紙」として使用するために生産されてきました。



大人も子どもも
楽しめる

わくわくイベント

もいだくさん!

あおばなを

見る

①京鹿の子絞実演



匠の技を近くで見る貴重なチャンス！伝統的工芸品のつくりかたを見てみよう！

出演：京鹿の子絞振興協同組合の皆様

②草津民話紙芝居「青花の紙」



大人も子どもも楽しめるかわいい絵柄が魅力の紙芝居

語り：ギンララ

③十七絃箏×紙芝居「語りと邦楽器のための青花の紙」

作曲：千秋次郎



じゅうしちげんこと心癒される十七絃箏のやさしい音色と共に語られる草津民話

演奏：麻植美弥子様、語り：麻植理恵子様

あおばなを

体験する

④青花紙を使った絞染でストール・ハンカチをつくろう



染料を袋に入れてモミ♪子どもから大人まで気軽にできます♪

講師：京鹿の子絞振興協同組合の皆様
湖南農業高等学校の皆様

⑤あおばなde押し花



「あおばな」の押し花でハガキを作って大切な人に手紙を書こう♪しおりもつくれるよ★

無料

<無くなり次第終了>

⑥青花紙で塗り絵体験！オリジナルうちわをつくろう



本物の青花紙を使って、うちわに綺麗な青色を塗ってみよう！

無料

<無くなり次第終了>

あおばなを

知る

⑦あおばな関連商品販売



あおばな茶やあおばなクッキーなどの販売。商品を購入してあおばなを応援しよう！

⑧青花紙と製作道具展示



貴重な青花紙に触れてみよう♪独特な香りがするよ！

⑨青花紙に関するパネル展示



伝統文化を支える「青花紙」を知ろう！

⑩ギンララスペシャルライブ



草津市ご当地ソングを含むスペシャルライブ！

<イベントスケジュール>

10:00 10:30 11:00 11:30 12:00 12:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30 17:00

	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00
①京鹿の子絞実演															
②紙芝居「青花の紙」															
③十七絃箏×紙芝居															
④絞染体験 ※事前予約制															
⑤押し花体験															
⑥うちわ塗り絵体験															
⑦あおばな商品販売															
⑧青花紙製作道具展示															
⑨パネル展示															
⑩ギンララライブ															

④絞染体験のみ
事前予約が必要だよ

④青花紙を使った絞染でストール・ハンカチをつくろう



受付期間：7/3～7/5

草津あおばな会事務局まで
お電話にてご予約ください
☎077-561-2455

定員：15名
(午前7名、午後8名)

材料費：ストール2,000円
ハンカチ1,000円

あおばながみ 「青花紙」としての伝統

「青花紙」とは、「あおばな」の花弁から絞った汁を和紙に何度も塗り乾かし、色素を定着させたものです。「あおばな」の色素は、水に溶けやすい性質を持っているので、江戸時代から「青花紙」として友禅染や絞染の下絵描きに絵の具として使用され、着物などの日本の伝統文化を支えてきました。現在は、着物の需要の減少や化学染料の登場、生産農家の高齢化などにより、存続の危機に瀕しています。

新たなる活用

近年、「あおばな」の葉や茎に血糖値の上昇を抑制する成分が含まれていることが発見されました。「あおばな」を粉末加工し、お茶をはじめとした粉末を混ぜた食用製品への活用がされています。当フェスタでもあおばな関連商品として販売していますので、ぜひこの機会にご興味ください。

